

平成22年度当初予算 重点的な取組別概要

< 重点事業 >

元氣3：農山漁村再生への支援（主担当部：農水商工部）

< 重点事業の目標 >

地域における集落機能の再生・充実をはかるため、市町や団体等との連携のもと、地域住民による「気づき」や「やる気」の醸成、集落におけるビジョンの作成などを進めます。

また、作成されたビジョンの具体化に向けて、地域住民や消費者などとの連携、協働により取り組まれる、農水産業や農山漁村のもつ多面的機能を維持・向上していくための活動を支援します。

< 構成事業（担当部） >

- （1）集落機能再生「きっかけづくり」推進事業（農水商工部）
- （2）都市との共生による農山漁村再生事業（農水商工部）
- （3）農地・水・環境保全向上対策事業（農水商工部）
- （4）離島漁業再生支援交付金事業（農水商工部）
- （5）藻場干潟等環境・生態系保全活動支援事業（農水商工部）
- （6）みえの水田営農システム確立推進事業（農水商工部）
- （7）担い手育成基盤整備事業（農水商工部）

< 重点事業の事業費 >

（単位：千円）

	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
策定時の見込額 1	194,905	271,000	269,000	269,000
予算額等 2	193,006	200,645	1,675,346	1,388,757

1 第二次戦略計画策定時における計画記載額

2 H19,20年度は決算額、H21年度は予算現額、H22年度は予算要求額

< 重点事業の数値目標 >

数値目標項目		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
集落ぐるみで多様な地域活動を展開している集落数	目標値	-	360集落	470集落	530集落	580集落
	実績値	59集落	389集落	495集落		

集落のもつさまざまな資源を生かし、都市との交流、環境保全、伝統・文化の伝承など、具体的な地域活動を行っている集落数

< 構成事業の目標 >

事業目標項目		H18年度	H19年度	H20年度	H21年度	H22年度
(1)集落未来図を作成した集落数（累計）	目標値	-	40集落	80集落	120集落	160集落
	実績値	-	32集落	82集落		
(2)心豊かな里づくりネットワーク登録地域数（累計）	目標値	-	60地域	73地域	82地域	85地域
	実績値	50地域	70地域	79地域		

(3)農村の資源保全活動 組織数	目標値	-	200 組織	300 組織	300 組織	300 組織
	実績値	7 組織	234 組織	292 組織		
(4)支援対象離島数	目標値	-	2 島	2 島	2 島	2 島
	実績値	2 島	2 島	2 島		
(5)漁村の資源保全活動 組織数	目標値	-	-	-	16 組織	20 組織
	実績値	-	-	-		
(6)集落営農実施集落数	目標値	-	-	-	324 集落	400 集落
	実績値	-	-	270 集落		
(7)事業実施地区における 農用地集積目標面積 の達成率	目標値	-	-	-	50%	55%
	実績値	-	-	43%		

< 進捗状況（現状と課題） >

- ・ 農水産業や農山漁村が担っている多面的機能は、集落の合意形成や共同活動などの集落機能を基礎として維持されてきましたが、近年、その集落機能が著しく低下してきており、多面的機能を県民に持続的に提供できない状況になりつつあります。
- ・ 市町等と連携し、地域のリーダー育成や集落ビジョンづくりを通じた集落機能の強化を 82 集落で支援するとともに、多様な主体の参画による農地や農業用施設等の資源保全活動を 412 集落で支援するなど、農業がもつ多面的機能を維持・増進できる体制づくりを進めています。
- ・ 棚田や里山の風景、郷土料理など農山漁村の魅力を広く発信するとともに、遊休農地や空き家など農山漁村の資源を活用し、93 の組織で都市と農山漁村との交流・共生を進めています。
- ・ 水田農業の担い手の確保・育成をはかるため、集落を単位とした水田営農システムを 296 集落で確立するとともに、施設の維持・管理省力化のための生産基盤の整備を進めています。
- ・ 漁業集落においても、漁業者を中心に多様な主体の参画を得て行われる藻場・干潟等がもつ多面的機能の維持・回復に向けた保全活動を行う 15 組織を支援するとともに、離島の活性化や集落機能の向上をはかるため、2 つの離島で地域住民の共同による漁場生産力の向上や集落の創意工夫を生かした新たな取組などを進めています。
- ・ 農山漁村地域の再生に向けては、農山漁村を取りまく状況を踏まえて、農業・農村の振興に関する条例や基本計画などの検討を進めるとともに、今後とも、農水産業や農山漁村のもつ多面的機能の維持・増進に取り組むための地域の体制整備や、集落等の合意形成のもとでの多様な担い手の確保・育成をはかっていくことが必要です。

< 平成 22 年度の取組方向 >

農業・農村の振興に関する条例検討を踏まえ、農を起点として多様な資源を最大限に生かした地域の活力向上活動を誘発するしくみの構築に取り組みます。

市町や団体等と連携し、地域リーダー育成や集落ビジョンの作成、農地・水・環境保全向上対策や藻場・干潟の環境や生態系の保全活動等による農水産業や農山漁村のもつ多面的機能を維持・向上する取組、都市と農山漁村との交流・共生の促進などを進めます。

集落合意に基づき取り組まれる担い手等を核とした水田営農システムの確立、生産基盤整備などを通じて地域農業を支える多様な担い手の確保・育成をはかります。

<主な事業>

(新) 農業再生・農村地域革新推進モデル事業

【基本事業名：22402 農業経営体の自立と集落機能向上への支援】(事業(1))

予算額：(21) - 千円 (22) 12,915千円

事業概要：農業・農村の振興に関する条例や基本計画の検討を踏まえ、農を起点とした地域活力向上活動を誘発するしくみ構築をめざしたモデル的な取組を行います。

集落機能再生「きっかけづくり」推進事業

【基本事業名：22402 農業経営体の自立と集落機能向上への支援】(事業(1))

予算額：(21) 4,067千円 (22) 3,660千円

事業概要：市町や関係団体と連携をはかりながら、住民の話し合いや地域資源の掘り起こしなどを通じて、地域のリーダーづくりや集落ビジョンづくりを進め、集落機能の充実・向上につなげます。

都市との共生による農山漁村再生事業

【基本事業名：53202 都市との交流・共生による元気なむらづくり】(事業(2))

予算額：(21) 7,640千円 (22) 6,606千円

事業概要：農山漁村の魅力を活用して都市との交流に取り組もうとする活動や農山漁村地域における受入体制の整備を支援するとともに、農山漁村の魅力についての積極的な情報発信や「三重の里ファン」づくりを進めます。

農地・水・環境保全向上対策事業【基本事業名：22301 農業の多面的機能の発揮】(事業(3))

予算額：(21) 180,000千円 (22) 180,000千円

事業概要：農業がもつ洪水調整機能や生物資源の保全などの多面的な機能を維持・増進できる体制づくりを進めるため、社会共通資本である農地や農業用施設等の資源を、地域住民や学校、NPOなどの多様な主体の参画により保全する活動を支援します。

(新) みえのふるさとづくり協働推進事業

【基本事業名：22301 農業の多面的機能の発揮】(事業(3))

予算額：(21) - 千円 (22) 1,000千円

事業概要：農地・水・環境保全向上対策事業や担い手育成基盤整備事業等を実施した地域の活動の質的向上や、さらに充実した農村地域づくりを進めるため、地域のリーダー候補などを対象とした人材養成活動を行い、意欲あるリーダー人材の育成やその資質向上に取り組めます。

環境・生態系保全活動支援事業

【基本事業名：22302 水産業の多面的機能の発揮】(事業(5))

予算額：(21) 9,236千円 (22) 12,832千円

事業概要：藻場・干潟等の果たしている多面的機能の維持・回復をはかるため、漁業者や地域住民など多様な主体の参画による、藻場・干潟の維持・管理等の保全活動を支援します。

みえの水田営農システム確立推進事業

【基本事業名：22402 農業経営体の自立と集落機能向上への支援】(事業(6))

予算額：(21) 14,948千円 (22) 12,683千円

事業概要：三重県の水田農業の構造改革を進めるため、関係機関とも連携した推進体制の整備をはかり、集落の合意に基づく水田営農システムの確立を進めるとともに、農地集積による土地利用型の担い手の育成や、集落の特性を生かした新たな産地づくりへの取組を進めます。

担い手育成基盤整備事業【基本事業名：22404 農業生産基盤の整備】(事業(7))

予算額：(21) 911,830千円 (22) 1,159,061千円

事業概要：自立した担い手の育成・確保を重点的に進めるため、担い手への農地集積とあわせ、農業用水路の維持・管理を省力化するパイプラインの導入など、生産基盤整備を実施します。